

# 電子情報通信学会技術研究報告 閲覧方法

2017年4月更新  
芝浦工業大学図書館

1. 「スタート」をクリックすると、電子情報通信学会のホームページが表示されます。
2. 「イベント案内」→「研究会開催案内」をクリックします。
3. 「研究会開催スケジュール・発表申込システム」をクリックします。

The screenshot shows the IEEE ICCE website interface. On the left is a navigation menu with the following items: 電子情報通信の魅力, 学会からのメッセージ, 各種お知らせ, イベント案内 (highlighted with a red arrow), 大会開催案内, 研究会開催案内 (highlighted with a red box), 国際会議、シンポジウム, 講習会、セミナー、見学会等, 先端オープン講座 (検討中), 子供の科学教室, イベント日程一覧, アーカイブ・出版物, 学会について, 各種学会活動, 会員サービス, 投稿のページ, 検索のページ, 入会のページ, お問い合わせのページ. The main content area is titled '研究会開催案内' and contains text about the society's research activities. A red arrow points to the link '研究会開催スケジュール・発表申込システム' within the text. The breadcrumb trail at the top reads 'Top page > イベント > 研究会開催案内'.

4. 閲覧したい「開催プログラム」をクリックします。

※開催日以前のプログラムはPDFで見られない場合があります。

**電子情報通信学会 研究会発表申込システム**  
**研究会 開催スケジュール**

[技術閲覧サービス](#)  
[投稿オンライン](#)  
…(ES/通/エ/レ/ア/SS)  
[投稿アーカイブ](#)  
…(E/レ)

すべての学会/サイエティ
すべての研究会
[Japanese] / [English]

すべての開催地
(  研究会名/開催地/テーマ ) → スケジュール検索

(講演検索 検索語[ ] / 範囲  題目  著者  所属  抄録  キーワード) → 講演検索

**すべての研究会開催スケジュール (本日以降)**

登録スケジュール (日付・昇順)
/ [次ページ]
日付順(昇順)
20件ずつ表示

218件中 1~20件目

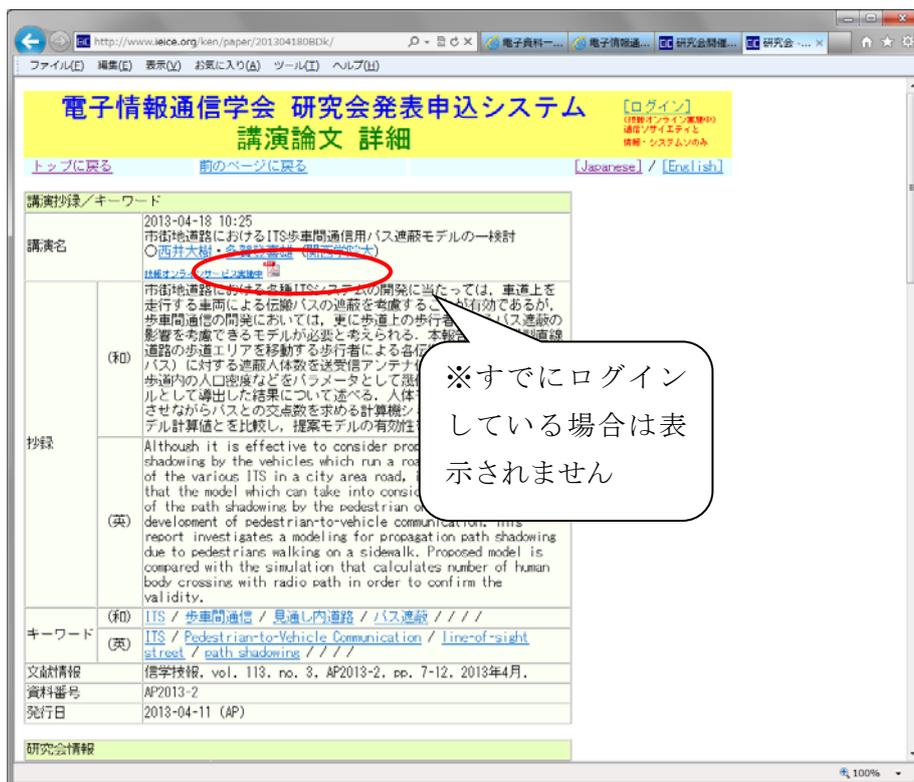
開催日	開催地	テーマ	研究会	発表申込締切	選択してください
2017年5月22日(月)~5月24日(水)	<a href="#">登別温泉第一滝本館</a>	HotSPA2017: リンフィギャブルシステム・ディメンタルコンピュータリングシステムおよび一般	<a href="#">CPSY, DC, IPSJ-ARC</a> (共催) <a href="#">RECONF</a> (併催) <a href="#">詳細</a>	3月24日(金)	<a href="#">詳細はこちら</a> <a href="#">締切済</a> <a href="#">開催プログラム</a> <a href="#">参加費について</a>
2017年5月25日(木)~5月26日(金)	<a href="#">名古屋工業大学</a>	医療・ヘルスケアのための生体信号・画像解析と理解	<a href="#">PRMU, IE, MI, SIP</a> (共催)	3月3日(金)	<a href="#">詳細はこちら</a> <a href="#">締切済</a> <a href="#">開催プログラム</a> <a href="#">参加費について</a> <small>技術完全電子化研究会 (PRMUのみ)</small>
2017年5月25日(木)~5月26日(金)	<a href="#">宇都宮大学 陽東キャンパス</a>	符号化, 変復調, 信号処理技術及び一般	<a href="#">WBS, SAT</a> (併催)	3月16日(木)	<a href="#">詳細はこちら</a> <a href="#">締切済</a> <a href="#">開催プログラム</a> <a href="#">参加費について</a> <small>技術完全電子化研究会 (SATのみ)</small>
2017年5月25日(木)~5月26日(金)	<a href="#">東大生産技術研究所</a>	知的環境, センサネットワーク, スマート建築, スマートシティ, 構造モニタリング, ゼロエネルギービルディング, 社会基盤センシング, BIM/CIM, 国土基盤モデル, 一般建築学会・スマート建築モニタリング応用小委員会後援, 土木学会・土木情報学委員会後援	<a href="#">ASN</a>	3月24日(金)	<a href="#">詳細はこちら</a> <a href="#">締切済</a> <a href="#">開催プログラム</a> <a href="#">参加費について</a> <small>技術完全電子化研究会</small>



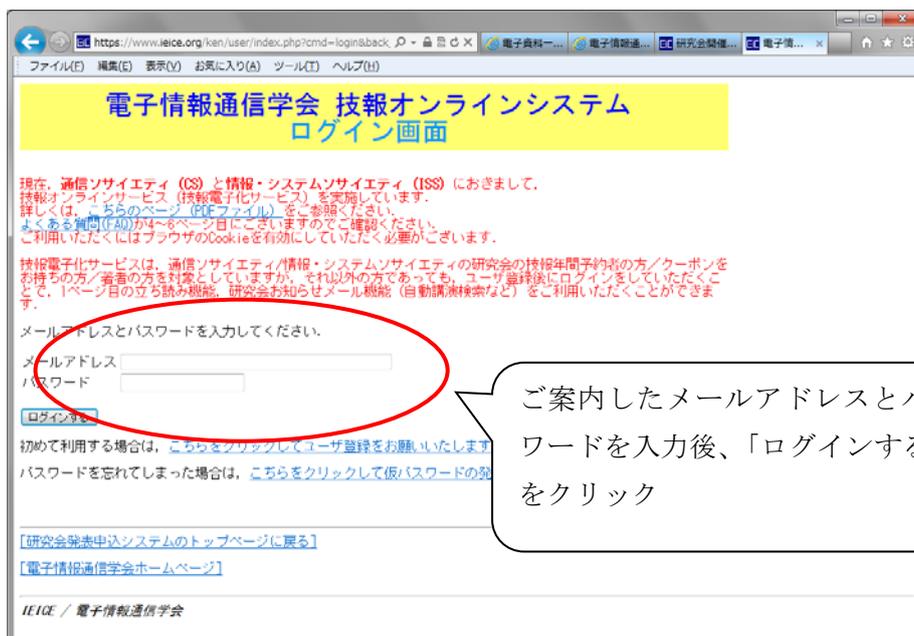
5. 閲覧したい報告のタイトルをクリックします。

5月22日(月) 午後 ニューラルネットワークアクセラレータ 座長: 津邑公暁(名工大) 14:00 - 15:00		
(1) RECONF	14:00-14:20	動的再構成ハードウェアアーキテクチャを活かしたCNNの実装と評価 ○植松瞭太・廣瀬一俊・安藤洸太・折茂健太郎・植吉晃大・高前田伸也・池辺将之・浅井哲也・本村真人(北大)
(2) RECONF	14:20-14:40	疎行列演算による3値化ディープニューラルネットワークの高速化 ○米川晴義・佐藤真平・中原啓貴(東工大)・本村真人(北大)
(3) RECONF	14:40-15:00	二値化ニューラルネットワークアクセラレータのアーキテクチャ検討 ○安藤洸太・植吉晃大・廣瀬一俊・折茂健太郎・植松瞭太・高前田伸也・池辺将之・浅井哲也・本村真人(北大)
15:00-15:10 休憩 (10分)		
5月22日(月) 午後 招待講演1 座長: 渡邊実(静岡大) 15:10 - 15:50		
(4) 共通	15:10-15:50	[招待講演] ディープラーニングの研究事例と産業応用の可能性 ○山村秀憲(北大)
15:50-16:00 休憩 (10分)		
5月22日(月) 午後 FPGAのニューラルネットワーク応用 座長: 小林悠記(NEC) 16:00 - 17:00		
(5) RECONF	16:00-16:20	RNSベースのCNNを用いたリアルタイム超解像システムのFPGA実装 ○重嶋泰斗・柴田裕一郎・小栗 清(長崎大)
(6) RECONF	16:20-16:40	重みの2のべき乗近似を用いたCNNのFPGA実装に関する一検討 ○宇都宮蒼博・尾崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則(熊本大)
(7) RECONF	16:40-17:00	FPGAを用いたCNNの最適ハードウェア構成とその二値化検討 ○植吉晃大・安藤洸太・折茂健太郎・高前田伸也・池辺将之・本村真人・浅井哲也(北大)
17:00-17:10 休憩 (10分)		
5月22日(月) 午後 リンフィギャブルLSI 座長: 谷川一哉(広島市立大)		

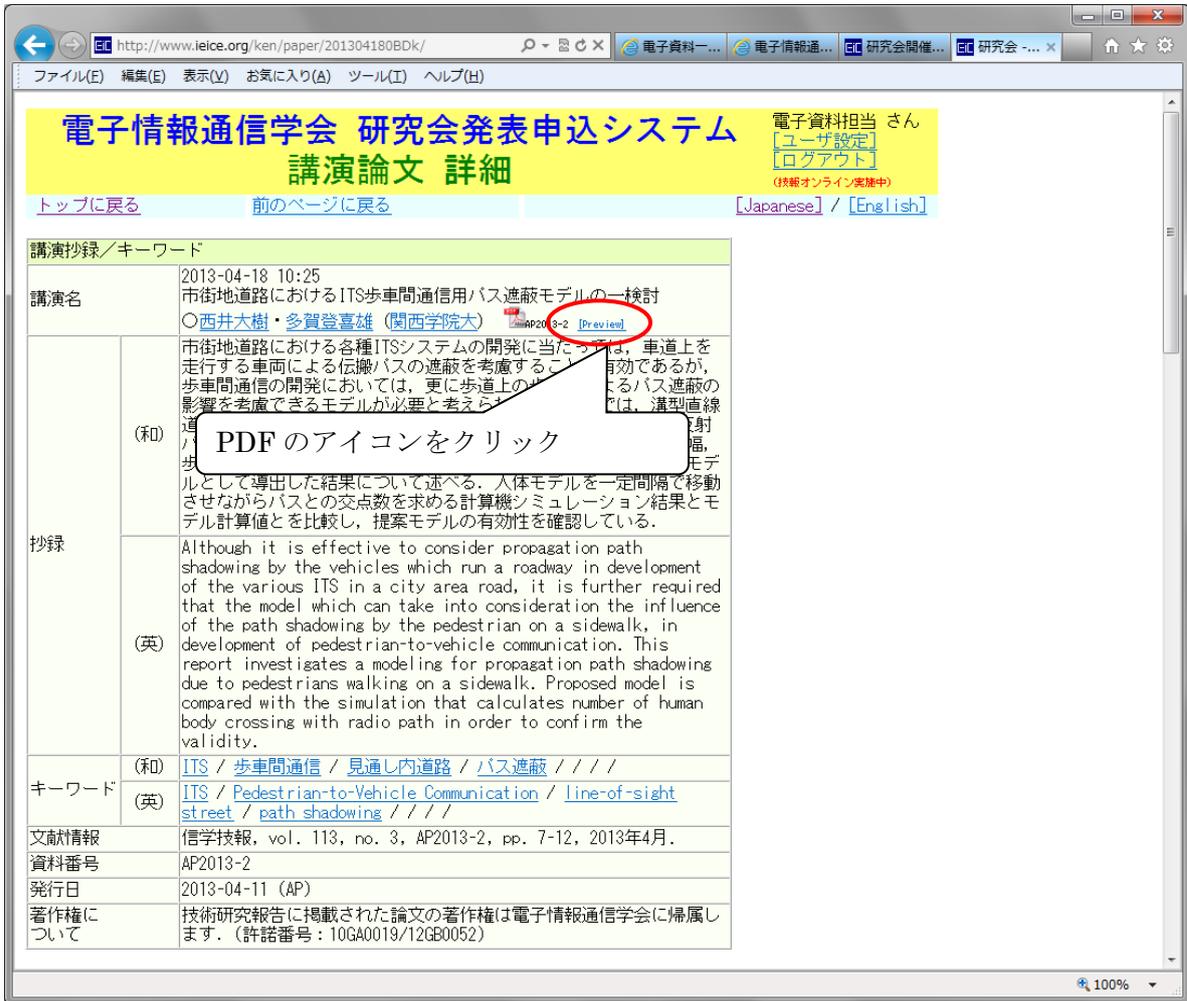
6. 「技法オンラインサービス実施中」をクリックします。



7. ログインを要求されるので、ホームページでご案内したメールアドレスとパスワードを入力し、「ログインする」をクリックします。



8.ログインができれば PDF のアイコンをクリックします。



電子情報通信学会 研究会発表申込システム  
講演論文 詳細

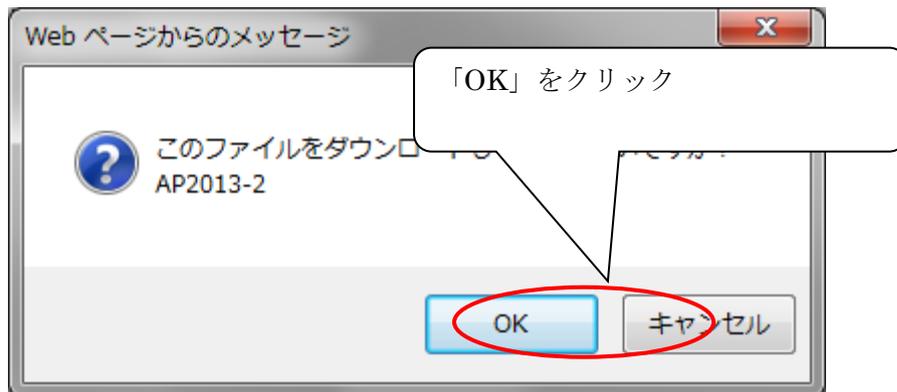
電子資料担当 さん  
[ユーザ設定]  
[ログアウト]  
(投稿オンライン実施中)

トップに戻る 前のページに戻る [Japanese] / [English]

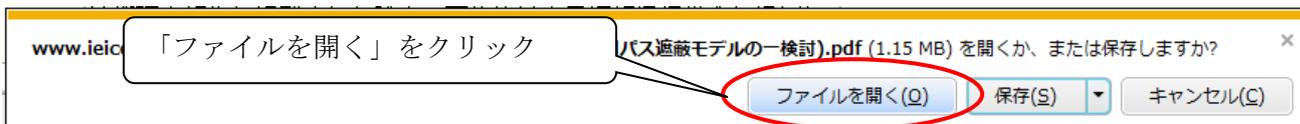
講演抄録/キーワード

講演名	2013-04-18 10:25 市街地道路におけるITS歩車間通信用バス遮蔽モデルの一検討 ○西井大樹・多賀登喜雄 (関西学院大)
抄録	<p>(和) 市街地道路における各種ITSシステムの開発に当たっては、車道上を走行する車両による伝搬バスの遮蔽を考慮することが有効であるが、歩車間通信の開発においては、更に歩道上の歩行者によるバス遮蔽の影響を考慮できるモデルが必要と考えらる。本報告では、溝型直線道路に歩行者が歩行するモデルとして導出した結果について述べる。人体モデルを一定間隔で移動させながらバスとの交点数を求める計算機シミュレーション結果とモデル計算値とを比較し、提案モデルの有効性を確認している。</p> <p>(英) Although it is effective to consider propagation path shadowing by the vehicles which run a roadway in development of the various ITS in a city area road, it is further required that the model which can take into consideration the influence of the path shadowing by the pedestrian on a sidewalk, in development of pedestrian-to-vehicle communication. This report investigates a modeling for propagation path shadowing due to pedestrians walking on a sidewalk. Proposed model is compared with the simulation that calculates number of human body crossing with radio path in order to confirm the validity.</p>
キーワード	(和) ITS / 歩車間通信 / 見通し内道路 / バス遮蔽 / / / / (英) ITS / Pedestrian-to-Vehicle Communication / line-of-sight street / path shadowing / / / /
文献情報	信学技報, vol. 113, no. 3, AP2013-2, pp. 7-12, 2013年4月.
資料番号	AP2013-2
発行日	2013-04-11 (AP)
著作権について	技術研究報告に掲載された論文の著作権は電子情報通信学会に帰属します。(許諾番号: 10GA0019/12GB0052)

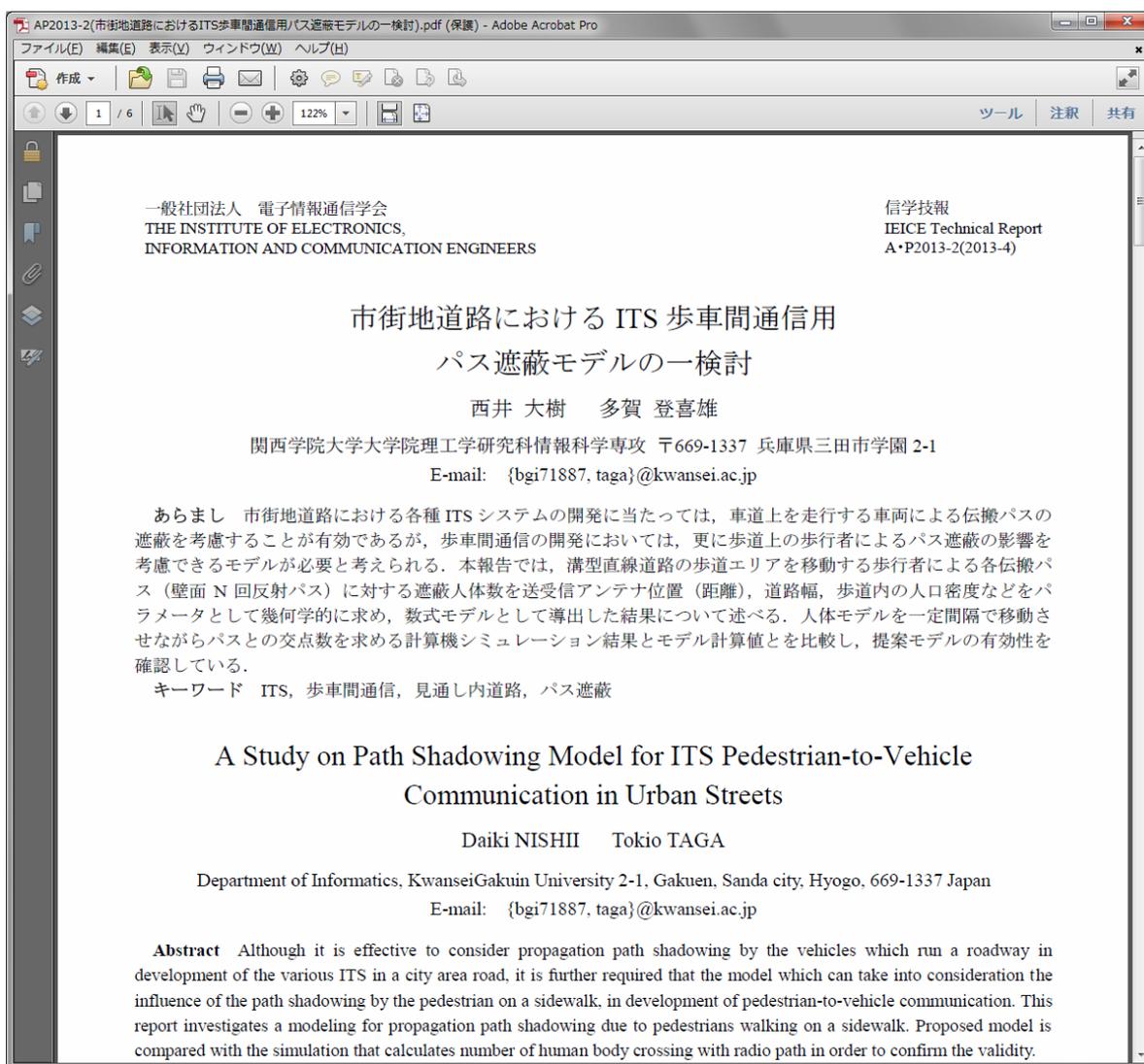
9.以下のようなポップアップメッセージが出るので、「OK」をクリックします。



10.ファイルのダウンロード方法を聞いてくるので「ファイルを開く」をクリックします。



11.PDF ファイルが表示され、閲覧が可能になります。



### 注意事項

- ファイルの閲覧回数には上限があります。上限を超えてしまうと他の方が閲覧できなくなりますので、閲覧は必要な論文だけにして頂きますよう、お願いいたします。  
(上限は研究会によって異なりますが、年間で50~200回程度です)
- 現在閲覧が可能なのは通信ソサイエティまたは情報・システムソサイエティに所属する研究会のみとなっております。他のソサイエティは未対応ですので、ご注意ください。